



令和7年度 東京都立品川特別支援学校 学校経営報告

令和8年3月末日 校長

【評価の表記方法】 ◎：高度に達成 ○：達成 △：一部達成 要改善 ×：未達成

1 本校の目標の達成状況

(1) 学校教育目標

- 基本的な生活習慣、自立と社会参加に向けた育成 (○：日常生活の指導、キャリア教育等)
- 豊かな感性と自分を表現する力の育成 (◎：学習発表会、音楽鑑賞会、笑顔と学び等)
- 学ぶ意欲、働く意欲・態度、主体性の育成 (○：興味の喚起、係活動、作業学習等)
- 仲間を大切にし、共に活動する力の育成 (○：他害・いじめの防止、集団学習等)

(2) 目指す学校像

- 人権を尊重し、一人一人を大切に作る学校 (△：～さん付けの呼称、関わり方等)
- 日々の授業を大切に、健康で安全な教育活動 (○：専門性・授業力の向上、感染症対策、防災教育等)
- 家庭、地域と連携を深め、信頼される学校 (○：PTA活動、学校間交流、福祉避難所開設訓練等)

2 今年度の中期目標と重点方策の評価

(1) 人権を尊重した指導の徹底 (△)

- ・児童・生徒の名前の呼び方、関わり方等について、一部適切ではない状況があることを学校評価等で指摘されており、引き続き研修等で教員が人権感覚を磨き、適切な接し方・指導を徹底していかなければならない。
- ・学校いじめ対策委員会を週に1回開催し、いじめにつながる他害のケースについて共有し、組織として迅速に再発防止策を講じていった。

(2) 自立と社会参加に向けた力の育成 (○)

- ・児童・生徒の身近自立を目指して日常生活の指導を丁寧に積み重ね、自分でできることを増やした。
- ・小学部からの係活動を重視するとともに、中学部に新設した教科「職業・家庭」の授業等を通して、キャリア教育を充実させた。
- ・ICカードを使った電車の乗車、商店での買い物等の体験により、児童・生徒の社会参加に向けた力を育成した。

(3) 専門性に基づく個に応じた指導 (○)

- ・外部専門員を活用し、アセスメントにより児童・生徒の実態を詳しく把握し、一人一人の状況に応じた教材の作成や授業づくり等に生かした。
- ・大学や療育機関の専門家、外部専門員等を講師とする校内研修を充実させ、教員の専門性を向上させた。
- ・1～3年次研修及び中堅教諭等資質向上研修Ⅰの対象教員の研究授業とフィードバックを1名につき3回行い、専門性や授業力の向上に組織的に取り組んだ。

(4) 安全・安心で健康な教育活動の推進 (△)

- ・管理内における児童・生徒のけが・事故が発生したため、教員の指導体制等を改善し、再発防止策を講じた。
- ・児童・生徒と教職員の感染症罹患の情報をマチコミで迅速に共有し、拡大防止のための注意喚起を行った。
- ・関係機関と連携し、首都直下地震に備えた防災訓練、不審者対応訓練、セーフティ教室等を充実させた。
- ・新規で配置されたスクールカウンセラーを児童・生徒や保護者等の心理面の安定のために活用することができた。

(5) これからの社会に対応できる力の育成 (○)

- ・1人1台GIGA端末の授業での活用を進めてきたが、教員の研修受講等により、更なる活用を図っていく。

- ・保護者による学校評価アンケートで、児童・生徒がGIGA端末を活用する様子が「わからない」という回答が30%あったため、学校だより、個別面談等で意図的に発信していく必要がある。
- ・デジタル社会に対応する力を育むために「職業・家庭」の授業等で情報モラルなどの内容を扱った。

(6) 地域支援・連携・協働・理解啓発の推進 (○)

- ・特別支援教育のセンター校として、区教育委員会が主催する研修会への講師派遣、小・中学校への出前授業等を通して、地域支援を充実させた。
- ・6月と10月の学校公開、7月の理解推進研修会に多くの関係者が参加し、理解啓発を推進することができた。
- ・浅間台小学校、品川学園との学校間交流は、双方の児童・生徒が成長につながる刺激を与え合う機会となった。

(7) 国・都からの指導を踏まえた教育課程の編成 (○)

- ・令和8年度に向け、授業時数を国が定める標準に近づけた教育課程を編成し、全校保護者会等で説明を行った。
- ・働き方改革を推進しつつ、学習活動を充実させていくために、指導の効果を高めることができる週時程を組み、文部科学省が発行する教科書の使用を促進していくこととした。
- ・電車の乗車、商店での買い物、レストランでの外食等の体験学習で成果を上げることができたため、新教育課程においても継続して取り組んでいく。

3 今年度の取組目標と方策の実施状況

(1) 学校運営

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	評価
①	服務事故防止研修を計画的に実施し、体罰、性暴力、不適切な指導、ハラスメント等を根絶する。	各学期1回以上の研修 事故件数：0件	○
②	児童・生徒の「～さん」付けでの呼称等を基本とした人権の尊重と適切な指導の徹底	通年、全教職員 不適切な指導：0件	△
③	デジタルを活用した教材のデータ化、業務の効率化、ペーパーレス化及びライフ・ワーク・バランスの推進	通年、各会議のペーパーレス化 残業月45h超え：延べ150人	○
④	一人一人の教職員の業務分担と責任を明確にし、主幹教諭を中心とした業務の進行管理の徹底	通年、進捗管理：主幹から報告 課題と解決策の共有	○
⑤	経営企画室と各校務分掌、学部・学年の連携による課題の明確化と効果的かつ効率的な学校運営の推進	通年、企画調整会議、職員連絡会、 職員朝会	○
⑥	教職員一人一人の校内外の研修の積極的な受講による特別支援教育の専門性や業務遂行に係る課題解決力の向上	通年 一人1回以上の研修	○
⑦	OJT、若手教員育成研修や教育実習、東京教師養成塾、教職大学院との連携等を維持・推進し、特別支援教育を担う人材の組織的育成	通年 1～3年次校内研修：12回/年	○
⑧	特別支援教育のセンター校としての地域・関係機関への理解啓発と支援活動の拡充	学校公開(2回合計)：100人 理解推進研修会：80人	◎
⑨	予算の効率的な執行による学習環境の整備、教育内容の充実、一般需用費のセンター執行率の向上	センター執行率：70%	○

(2) 学習指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	評価
①	児童・生徒の各種アセスメント結果を授業づくりに反映するとともに、保護者面談を通して情報を共有	年2回以上	○
②	外部専門員の活用と連携を通して、課題の設定、指導内容、指導方法の改善・充実を進める	通年、外部専門員の活用 累計900時間以上/年	○
③	すこやかで丈夫な体をつくり、豊かな感性を育むために、障害者スポーツ、日本の伝統文化、芸術教育の指導を進める	タッチラグビー教室、笑顔と学び、 音楽鑑賞会等	◎
④	基礎体力の向上、体幹機能の向上・安定に向けた運動活動の改善・充実	通年、体育授業等 体育発表会	◎

⑤	GIGAスクール端末を児童・生徒が活用する授業の推進、家庭での活用促進、保護者への取組状況の発信	通年、学期ごとに状況確認	○
⑥	「子供たちの今を見つめる実態把握と将来を見据えた目標設定を考える～子供の目標達成に向けた指導内容とは～」 〔自立活動についての研究〕 講師:下山 直人 先生(上野学園大学 短期大学部 音楽科 非常勤講師)、他	校内研究会・夏季研修会 年9回	◎
⑦	授業アドバイザーによる授業改善・教材開発に向けた指導・助言	通年、全教員	○
⑧	教材・教具の開発・作成、共有促進のための Teams 内フォルダ等への教材の蓄積	各教科：20 件以上	○

(3) 生活指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	評価
①	いじめ防止、体罰・性暴力・不適切な指導の根絶のための会議、アンケート等の実施	通年、随時 学校いじめ対策委員会：1回/週 いじめアンケート：3回/年	○
②	事故0のための校内の安全点検、整理整頓、感染症対策としての消毒等の徹底	通年、随時	△
③	迅速なヒヤリハット報告、事例の共有による危機管理意識の向上と改善策の確立	通年、随時	○
④	スクールバス運行会社、ドライバー、添乗員との緊密な連携、十分な情報共有による安全な運行	連絡会：週初日の登校時 研修会：年3回以上	○
⑤	自立と社会参加に向けた基本的な生活習慣、日常生活動作（ADL）の確立、身辺自立のための指導の徹底と家庭との連携	通年、日常生活の指導、 中学部「職業・家庭」等 連絡帳、個別面談等	◎
⑥	公共施設や公共交通機関等の利用を通して、社会のルールの指導の計画的実施	各学年：年1回以上	◎
⑦	防災対策として品川消防署、品川警察署等の地域関係機関と連携した防災教育、防犯・安全教育を推進する	避難訓練：年11回 総合防災訓練：年1回 防犯・安全教育：年3回	◎
⑧	品川区と連携した福祉避難所開設訓練の実施	年1回（R7：夏季）	○
⑨	学校医、医療関係者、保護者との連携による児童・生徒の心身の健康教育・摂食指導・保健指導の充実（心肺蘇生法研修、アレルギー対応研修）	通年、研修会は全員参加	○

(4) 進路指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	評価
①	キャリア教育の視点に立った系統的教育活動の推進、係活動等の充実、就労に関する理解の深化（中学部「職業・家庭」、就労先見学、就業体験等の実施）	通年、各学年・学級 小5～中2体験等：1回/年	◎
②	一人通学の指導を児童・生徒個々の状況に応じて、家庭と連携して推進	通年	○
③	教員と保護者を対象とした事業所見学会、講演会等の実施	1回/年	○
④	進学先を見通した中学部3年生保護者の高等部説明会への参加促進、教員の進路先説明会への参加	港特支・青鳥特支・田園調布特支等：各1回以上	○

(5) 特別活動・その他

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	評価
①	言語活動、読書活動、読み聞かせの会等による豊かな感性、自己表出の力、コミュニケーション能力等の育成	通年、各学年・学級	○
②	図書室の環境整備、新規図書購入や寄贈等による蔵書の充実、図書ボランティア（PTA）との連携・協力	100冊以上/年	◎

③	児童・生徒の集団意識を養い成長を促す学級経営、学級活動の内容整理と工夫	通年、随時	○
④	日々の指導の集大成としての全校行事や学年行事等のねらい、内容等の精査	通年、各学年	○
⑤	医療的ケアについての全校的な理解を深めるためのパンフレットの配布	年1回（年度初め）	○
⑥	医療的ケアを要する児童・生徒の適切で安全な管理を徹底するための医療的ケア安全委員会、緊急時対応訓練の定期的な実施	委員会：6回以上/年 訓練：1回/学期	◎
⑦	学校間交流や副籍事業（副籍交流）等に関する連絡会、打合せ等の実施	1回以上/年	○
⑧	学校間交流、社会貢献活動等の地域や社会と関わりをもつ取組を学部・学年等の単位で推進	各学年1回以上/年	○
⑨	特別支援教育コーディネーター等による小・中学校への巡回相談、電話相談等の実施	80件以上/年	◎
⑩	品川区教育委員会主催の研修会への講師派遣及び小・中学校での出前授業の実施	各3回以上/年	◎
⑪	特別支援教育推進室、通学区域の区教育委員会、就学前施設等との連絡会、打合せ等による適切で円滑な就学相談、転入・転出相談の実施	通年	○
⑫	支援会議による地域の関係機関（子ども家庭支援センター、児童相談所、警察署、福祉課等）と連携・協力した児童・生徒の家庭生活・地域生活の安定化	5回以上/年	◎
⑬	マチコミ等を活用した迅速な情報共有、学校ホームページを使った情報発信や教員公募案内等、オンライン配信等の充実	マチコミ等：随時 HP更新：100回以上/年	○

4 本年度のまとめと次年度方針の要点

(1) 本年度のまとめ

- 上記のとおり、学校経営計画の中期目標に掲げた自立と社会参加に向けた力の育成、専門性に基づく個に応じた指導、これからの社会に対応できる力の育成、地域支援・連携・協働・理解啓発の推進、国・都からの指導を踏まえた教育課程の編成については達成することができたが、人権を尊重した指導の徹底及び安全・安心で健康な教育活動の推進については課題があり、改善していく必要がある。

(2) 次年度方針の要点

① 人権を尊重した指導の徹底

- ・ いじめ、体罰、性暴力防止等の取組と保護者への発信の継続
- ・ 全教員による児童・生徒の適切な呼称の仕方や接し方等の徹底
- ・ 引き続きの研修等による人権感覚の涵養

② 自立と社会参加に向けた力の育成

- ・ 身近自立を目指した日常生活の指導等の継続的な取組
- ・ 社会参加に向けた電車の乗車や買い物等の体験学習の充実
- ・ 係活動や「職業・家庭」の授業等を重視したキャリア教育の推進

③ 専門性に基づく個に応じた指導

- ・ 年次研の対象教員の研究授業とフィードバックによる組織的な育成
- ・ 校内研修の充実、外部専門員の活用等による専門性の向上
- ・ 東京都教職員研修センターの専門性向上研修等の更なる活用

④ 安全・安心で健康な教育活動の推進

- ・危険の予測によるけが・事故の未然防止、迅速な情報共有と注意喚起による感染症の拡大防止
- ・首都直下地震に備えた防災訓練、不審者対応訓練、セーフティ教室等の取組の継続
- ・緊急時対応訓練等で高めた教職員のチーム力による医療的ケアの安全実施
- ・児童・生徒、保護者の心理面の安定のためのスクールカウンセラーの活用促進

⑤ これからの社会に対応できる力の育成

- ・1人1台GIGA端末の更なる活用と保護者への発信の工夫
- ・デジタル社会に対応する力を育むための情報モラル等の学習の充実
- ・将来の余暇活動につながる障害者スポーツ、芸術鑑賞等の取組の継続

⑥ 地域支援・連携・協働・理解啓発の推進

- ・特別支援教育のセンター校としての区教育委員会、地域の小・中学校等への支援の充実
- ・地域の関係者が来校する学校公開、理解推進研修会等の機会を生かした理解啓発の推進
- ・地域の小・中学校と連携し、児童・生徒の成長につなげる学校間交流、副籍交流等の継続実施

⑦ 国・都からの指導を踏まえて編成した教育課程の実施

- ・授業時数を国が定める標準に近づけて新たに編成した教育課程の実施と成果の検証
- ・指導の効果を高めるためにモジュールや3コマ続きの授業等を設定した週時程の運用
- ・文部科学省が発行する教科書の使用促進による学習活動の充実